

山口県光市		●活動名 島田川協育ネット協議会			●関係する学校名 光市立島田中学校 光市立島田小学校 光市立上島田小学校 光市立三井小学校 光市立周防小学校		
協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成24年4月1日指定	地域学校協働本部	有		
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 —		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人			
ボランティアの数	延べ登録人数 171人	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有		
参考URL	http://shimata-j.bulog.jp/						
●連絡先	光市教育委員会 文化・社会教育課			☎ 0833-74-3604			



●活動の概要・経緯
平成29年に「島田川協育ネット協議会」が発足し、島田中学校区で地域学校協働活動がスタートした。島田中学校区には島田中学校、島田小学校、上島田小学校、三井小学校、周防小学校の1中4小がある。構成委員は地域学校協働活動推進員、各学校の学校運営協議会会長、PTA会長、校外コーディネーター、校長、校内コーディネーターに、4地域のコミュニティセンターの主事を加え、地域との連携を強化している。さらに、5校CSの連携も推進している。島田川協育ネット協議会は5月と1月に実施している。5月は年度当初の確認事項や年間の活動について協議する。1月は島田川っ子サミットを受けて子どもたちの意見を反映しながら、よりよい運営に繋げている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

島田川っ子サミットは8月と12月に実施している。平成29年・30年・令和元年度は、「あいさつ」「地域貢献」、令和2年度は「地域防災」「いじめ防止」をテーマに児童生徒が各校の現状と取組を報告し協議した。そこで出た意見を島田川協育ネット協議会で反映している。また、5校親睦球技大会・島田川協育ネット親睦会・島田川協育ネットピカピカデイ等の行事を主催するなど、学校と地域が連携して「地域とつながり、感謝や思いやりのある島田川っ子」の育成に努めている。令和2年度は地域ぐるみ防災キャンプを協育ネット主催で取り組み、中学生が考える地域のための避難所設営やこれからの地域防災を考えたり、体験したりすることで、地域と生徒たちの将来的なWin-Winを目指した活動に取り組んだ。

【実施に当たっての工夫】

島田川っ子サミット、島田川協育ネットピカピカデイ、地域ぐるみ防災キャンプの実施で、児童生徒と地域との連携が進んだ。5校親睦球技大会・島田川協育ネット親睦会で保護者と地域の連携が進んだ。島田川協育ネット協議会と島田中学校区の小中一貫教育の両方が育てたい子ども像を共有することで、地域と学校、家庭のめざすものが明確になった。島田中学校CS会長が島田川協育ネット協議会会長を兼務することで、島田川協育ネット協議会における各校のCSと協育ネット協議会の連携がスムーズになった。

【関係機関・団体等との連携状況】

島田中学校では、学校運営協議会が各地域のコミュニティセンター主事から情報提供やアドバイスを受けて、生徒会主催のボランティア活動であるSHP(しまたハッピープロジェクト)の地域貢献活動を進めている。地域の祭りや文化祭のボランティアに多くの生徒が参加し、いきいきと活動した。また、島田人形浄瑠璃芝居保存会と連携し、県総合文化祭や中学校での文化祭で生徒による発表を行った。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域学校協働活動に取り組むことで、「地域とつながり、感謝や思いやりのある島田川っ子」の育成に向けて、島田中学校区の1中4小と「地域とのつながり」が深まっている。CSの地域ボランティアの活動では、生徒の下校時に合わせて、ごみ拾いや見守りをする「見守り隊」、テスト前の「学習会」、地域の方がご自宅から花を持ち寄り、学校中に生け花を飾る「花の日」、これらの活動に対して生徒達は地域の方に「感謝」の気持ちを強く抱いている。生徒会主催のボランティア活動SHP(しまたハッピープロジェクト)で地域の行事にボランティアとして参加したり、「島田川協育ネットピカピカデイ」として地域の福祉施設や公共施設などの掃除をしたりすることで、地域の方から「感謝」の言葉をもらうことが増えた。そして、地域や地域の方を「思いやる」気持ちと共に自己有用感が高まってきた。

●その他

地域ボランティアと生徒が協働して、NPO法人「チームふくしま」が主催している「福島ひまわり里親プロジェクト」に賛同し、県道沿いにひまわりを植え、地域や通行する方楽しんでもらっている。また、種は地域ボランティアの方と採取し、福島県に送っている。

